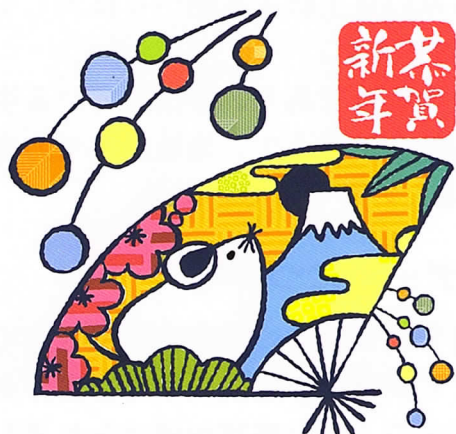


東地域まちづくり協議会だより 第13号



東地域まちづくり協議会 会長 大嶋 充
東地域にとって、北の橋の開通は、長年の夢でした。12月15日（日）に待望の北の橋が開通しました。この開通により、東地域の人的・物的交流が一層活発になり、より発展していく大きな役割を果たしてくれるものと皆様と共に喜びたいと思います。

今号では、東地域まちづくり協議会の今年度後半に実施した主な活動について以下お伝えしたいと思います。

「みんなで築こう」支え合い 助け合い 安心・安全な地域

東地域まちづくり協議会では、「東地域まちづくり計画書」を作成し、それに基づいて各団体が力を合わせ、活動を展開しています。「みんなで築こう支え合い 助け合い 安心・安全な地域」部会では、「自分たちの地域の安全は自分たちで守ろう」ということで、地域の宝である子どもを守るため、おらっちゃん創生事業補助金を交付していただき、東地域の「新町保育園」「ひみ中央こども舎」「比美乃江小学校」「北部中学校」の4か所に防犯カメラを設置することができました。今日の社会、防犯カメラは、安全で安心な生活を送る上で必要な備品です。これにより、東地域における学び舎の安全面が一層向上し、子どもたちが楽しく伸び伸びと過ごすことができることを願っています。地域の宝である大切な子どもたちが、安全な環境の中で育ってくれることが地域住民の願いであります。



【比美乃江小学校に設置された防犯カメラ】

高齢者の命を火災から守る連携・協力活動

まちづくり協議会では、社会福祉協議会との連携・協力により、高齢者の命を火災から守るため、12月1日（日）、東地区12町内の自治振興委員・防災会長・民生委員、消防署員、消防団員の皆様と、高齢者のお宅、特に一人でお暮らしの家庭170戸を訪問し、火災から命を守るための具体的な指導をさせていただきました。例えば、火災報知器が正しく機能しているか、耐用年数が経過していないか、お話を伺いし確認させていただきました。



ました。今年度は、民生児童委員の交代時期にあたりますので、円滑な引き継ぎを考慮し、新旧の民生委員がいっしょに活動に参加してくださいました。有難うございました。このように、地域全体で支え合う防火活動に取り組み、防火の目を広げていくことが、地域における大きな防災効果につながるのではないのでしょうか。今後は、子どもたちにも加わっていただき、地域ぐるみの自主防災活動へと拡大していくことができれば素晴らしいことであると考えております。

このような活動が、本市のまちづくり協議会設立の趣旨であり、目指している姿であると考えております。やがて到来する人口減少社会に備えて、地域全体で力を合わせて一つひとつの課題に積極的に取り組んでいきたいと考えています。

「東地域さわやかクリーンサンデー」について

本協議会では、初めての試みとして、12号（前号）で標記の活動を提案させていただきました。10月20日（日）に、一人ひとりが身近な生活の中で、自分ができることに挑戦していただきました。この程、下記のような感想が届けられましたので、本紙にて報告させていただきます。順番は、報告をいただきました順になっております。

- ・海岸のごみ、北環状線に落ちていたごみを拾いました。
- ・環状線に捨てられていたごみを拾いました。
- ・学校へ行くとき、大きな声で近所の人にあいさつをしました。
- ・道路の草を少しむしりました。道路際の街路樹の枯れ枝を切りました。
- ・公民館の草刈りをしました。
- ・犬のフンを各自で処理をすることを表した看板を立てました。



【犬のフンの後始末についての看板取り付け作業】

東地域まちづくり協議会では、家庭や地域社会、学校のために、私（自分）は何かができるか、という観点で標記のさわやかサンデー活動を実施しました。ここに掲載したのは、寄せられた活動内容の一部です。

このように、ちょっと意識を変えて地域社会の役に立ちたい、という人々が少しずつでも多くなるように、今後とも意図的・計画的にこのような活動を展開していきたいと思えます。

さて、振り返ってみると、令和元年もあっという間に過ぎていったような気がします。東地域まちづくり協議会の事業は、皆様のご理解・ご協力により、順調に進んでおります。これは、東地域の皆様のお陰であり、ここに厚くお礼申し上げます。

令和2年も、東地域の皆様にとりましてよい年となりますように祈念し、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げ、東地域まちづくり協議会だより13号の結びとさせていただきます。